

令和2年度

第1回 帯広市地域公共交通活性化協議会 次第

1 開 会

2 議 事

報告事項

- (1) 令和元年度事業報告について
- (2) 令和元年度決算報告について
- (3) 令和元年度監査報告について
- (4) 令和元年度帯広市地域公共交通網形成計画に係る事業実施状況について

協議事項

- (1) 令和2年度事業計画（案）について
- (2) 令和2年度収支予算（案）について
- (3) 令和2年度帯広市地域公共交通網形成計画に係る事業実施内容（案）について

3 閉 会

※ 配付資料

- 資料1 委員名簿
- 資料2 令和元年度事業報告
- 資料3 令和元年度収支決算書
- 資料4 会計監査報告書
- 資料5 令和元年度帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施状況
- 資料6 帯広市地域公共交通網形成計画 評価指標達成状況
- 資料7 帯広市地域公共交通網形成計画 事業スケジュール・進捗状況一覧表
- 資料8 令和2年度事業計画（案）
- 資料9 令和2年度収支予算書（案）
- 資料10 令和2年度帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施内容（案）
- 参考資料1 協議事項説明書

令和2年度 帯広市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
十勝バス株式会社	取締役執行役員 事業本部長	長沢 敏彦	
北海道拓殖バス株式会社	業務部長	小森 明仁	
毎日交通株式会社	専務取締役	千葉 和也	
大正交通有限会社	代表取締役	道見 茂美	
十勝地区バス協会	事務局	寺山 康浩	
北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	議長	久保 真司	
十勝地区ハイヤー協会	常務理事	塚本 俊二	
帯広市町内会連合会	副会長	齊藤 雅俊	
北海道運輸局帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	酒井 啓友	
北海道十勝総合振興局	地域政策課長	千葉 敬貴	監査
帯広開発建設部 道路計画課	道路計画課長	谷津 臣則	
帯広警察署 交通第一課	課長	浅野 慎哉	
帯広市 都市環境部 環境室 環境課	課長	小林 伸行	
帯広市 市民福祉部 地域福祉室 地域福祉課	課長	毛利 英孝	
帯広市 市民福祉部 福祉支援室 介護高齢福祉課	課長	内藤 真也	
帯広市 経済部 商業労働室 商業労働課	課長	鳥本 貴敬	
帯広市 経済部 観光交流室 観光交流課	課長	大林 健一	
帯広市 学校教育部 教育総務室 企画総務課	課長	佐藤 克己	
帯広市 都市環境部	部長	和田 亮一	会長

令和元年度 事業報告

令和 元年

- 6月13日 令和元年度第1回協議会開催
- ・平成30年度事業報告・決算報告・監査報告
 - ・令和元年度事業計画（案）・収支予算（案）
 - ・帯広市地域公共交通網形成計画に基づく事業の実施状況について

令和 2年

- 2～3月 中高生向けモビリティ・マネジメント（MM）小冊子作成・配布
- ・市内中学3年生及び高校1年生への配布
- 転入者向けMM小冊子作成・配布
- ・戸籍住民課窓口にて配布
- 高齢者向けMM小冊子作成・配布
- ・高齢者福祉課窓口及び地域交流サロン、地域包括支援センターを通じて配布

- 3月23日 令和元年度第2回協議会開催（書面会議）
- ・帯広市地域公共交通活性化協議会規約および財務規程の改正について

令和元年度 収支決算書

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増 △ 減	備 考
補助金	0	0	0	
負担金	66,000	66,000	0	バス事業者負担金 33,000円 帯広市負担金 33,000円
雑入	28,775	28,775	0	前年度繰越金 28,775円
計	94,775	94,775	0	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増 △ 減	備 考
事業費	80,000	76,315	△ 3,685	MM小冊子作成用紙 等
事務費	14,775	550	△ 14,225	振込手数料
計	94,775	76,865	△ 17,910	

収入額 94,775円 - 支出額 76,865円 = 繰越額 17,910円

会計監査報告書

令和元年度帯広市地域公共交通活性化協議会の会計について、
関係帳簿及び収入・支出証書の監査を行った結果、その処理が
いずれも適正であることを認めます。

令和2年6月9日

監査委員 北海道十勝総合振興局 地域創生部

地域政策課長 千葉 敬貴 

令和元年度 帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施状況

※資料中、「(継続)」は過年度から継続実施している取組を表す。

基本方針1 公共交通のサービスレベル向上

1 市内バス路線及びダイヤの見直し

路線名	運行事業者	実施内容
上士幌線／ぬかびら線 十勝川温泉線	十勝バス	JR や都市間バスとの接続性の改善を図るためのダイヤ改正を実施。
東8条線	十勝バス	買物利用や高齢者学級に通う高齢者からの要望を受け、より利用しやすい形へのダイヤ改正を実施。
循環(記念病院)線 大空団地線／音更線	十勝バス	利用者の少ない土日祝日運行便について、路線維持確保に向けた運行経費削減のため、一部減便を実施。
学園通線	十勝バス	西地区の交通結節点(乗り継ぎ拠点)の設置に向けて、MEGA ドン・キホーテ西帯広店における、駐車場内のバス車両出入の実施可能性について検証、協議。 (検証の結果、安全性の確保が課題であったことから、実施に向けた協議を継続中。)
帯広の森線	拓殖バス	帯広の森利用者の利便向上のため、新たに土日祝日運行便(午前中1往復)を新設。

※路線の一部が市内を運行するが、主に市外運行部分に関わる路線・ダイヤの変更については記載省略。

※十勝バスにおいて実施を予定していた東13条エリアにおける乗合タクシーの実証実験については、新型コロナウイルス感染症などの諸事情により中止。

2 定時性の確保等に向けた取り組み

- ・冬期間における道路管理者への運行経路上の除雪等対策の要望や、遅延発生路線への代替便による対応を実施。(継続)【十勝バス・拓殖バス】
- ・冬期間の通勤時間帯における渋滞緩和に向けた、エコ通勤やノーカーデーの取組を実施。(継続)【十勝バス・拓殖バス】

3 バス待合環境の改善に向けた取り組み

- ・イオン帯広店前のバス停に上屋を設置。【十勝バス】
- ・南商業高校・帯広の森線の一部停留所について、経年劣化しているバス停標柱を更新。(一中・療養所方面は全て更新済。)【拓殖バス】

4 ICカードシステム導入に向けた実証実験等、新しい運賃制度の検討

- ・令和2年3月1日よりバスターミナルおびくる及び各町村の案内所全ての窓口でのQRコード決済(PayPay)に対応。【十勝バス】
- ・バス車内へのキャッシュレス決済導入に向けた調整を実施。(継続)【拓殖バス】

基本方針2 生活と交通の拠点の整備

1 乗り継ぎ拠点の設置

- ・西地区の交通結節点（乗り継ぎ拠点）の設置に向けて、MEGA ドン・キホーテ西帯広店における、駐車場内のバス車両出入の実施可能性について検証、協議。（検証の結果、安全性の確保が課題であったことから、実施に向けた協議を継続中。）《再掲》
【十勝バス】

2 デマンド型交通の利便性向上

- ・大正・川西地区の会合において、あいのりタクシー・バスの利用促進のための PR 及び運行改善に向けた意見交換を実施。【大正交通・毎日交通・帯広市】

3 多様な移動手段との連携の検討

- ・年末深夜バスにおけるタクシーとの連携を実施。（継続）【十勝バス】
- ・十勝圏二次交通活性化推進協議会において、観光面におけるバスとタクシーが連携したサービスの提供を検討・実施。（継続）【十勝バス・拓殖バス】

基本方針3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施

1 バスロケーションシステム等の普及

- ・「ジョルダン」「駅すばあと」など、大手コンテンツプロバイダでの路線検索に対応。
【十勝バス・拓殖バス】
- ・グーグルマップやオープンデータについて、一般路線バスだけでなく、都市間バスや空港連絡バス、コミュニティバスまで表示内容を拡充。【十勝バス・拓殖バス】
- ・GTFS リアルタイム対応のオープンデータ（バスロケデータ）実現に向けた研究。
【拓殖バス】

2 分かりやすい時刻表の作成

- ・帯広市内の一部と郊外の主要バス停留所に、各路線の全バス停留所を明記した運行系統図を設置。【十勝バス】
- ・路線やバス停留所によって形式が統一されていないバス停標柱の時刻表について、形式の統一に向けて検討。【拓殖バス】
- ・病院利用客の利便性向上のため、路線別の乗継時刻表の作成を検討。（継続）【拓殖バス】

3 情報提供機能の充実

- ・AI 窓口の機能向上（柔軟な施設名称認識機能など）に向けた検討。【十勝バス】
- ・シームレス交通戦略推進の一環として、帯広駅バスターミナル周辺の案内図等の充実について検討。【十勝バス・拓殖バス】

4 外国人観光客向けの案内表示の整備 【十勝バス・拓殖バス】

- ・バス停標柱の更新に合わせて、バス停留所への英語表記を順次実施。
- ・インバウンド利用客の多いバス停留所において、多国語時刻表を掲示。
- ・帯広駅バスターミナルにおいて、「ポケットーク」等の翻訳アプリを活用した案内を実施。
- ・帯広駅バスターミナルのりばにおいて、観光客をターゲットとした目的地別案内図の看板設置や紙媒体での配布、及びホームページ上での公開を実施。

5 企画乗車券（バスパック等）の利用促進【十勝バス・拓殖バス】

- ・バス事業者ホームページや SNS、バスターミナルおびくる等において、バスパック等の PR を実施。（継続）

基本方針4 利用促進施策の推進

1 モビリティ・マネジメント施策の展開

《路線バス事業者事業》

- ・南町連合町内会の総会において路線バスに関する講座の実施や免許返納に関する PR 活動を実施。【十勝バス】

《協議会事業》

【小学生向け】

- ・市内小学校において行政、バス事業者等による出前講座「交通環境学習」を実施（平成 19 年度～）。4 校で 5 回開催、291 名の児童が受講した。（継続）

【中学生向け】

- ・平成 30 年度に引き続き、高校、専門学校等に進学する市内の中学 3 年生（14 校、約 1,300 名）を対象に、路線バスの利用方法やバスの環境への優位性など、バス利用の動機付け情報を掲載した小冊子を作成・配布し、翌年度の高校通学時におけるバス利用の促進を図った。（継続）

【高校生向け】

- ・平成 30 年度に引き続き、市内の高校に通学する高校 1 年生（8 校、約 1,700 名）を対象に、路線バスの利用方法やバスの環境への優位性など、バス利用の動機付け情報を掲載した小冊子を作成・配布し、通学時におけるバス利用の促進を図った。（継続）

【転入者向け】

- ・市内転入者へ向けて、路線バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報を掲載した小冊子を作成、配布し、通勤や日常生活におけるバス利用の促進を図った。（継続）

【高齢者向け】

- ・環境面だけでなく、健康、安全、費用などの面から公共交通への理解を深め、自発的な交通手段転換を促す出前講座について、「帯広市高齢者学級」を対象として実施。43名が受講した。(継続)
- ・市内の高齢者へ向けて、路線バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報を掲載した小冊子を作成、配布し、日常生活におけるバス利用の促進を図った。

帯広市地域公共交通網形成計画 評価指標達成状況

基本方針1 公共交通のサービスレベル向上							
(1) 路線バス利用者数							
把握する指標	市内完結路線における路線バス年間利用者数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	3,369,900	3,389,900	3,410,000	3,430,200	3,450,600
実績値(人)	3,350,075	3,356,486	3,379,745	3,392,443	3,445,013	-	-
達成率	-	-	100.3%	100.1%	101.0%	-	-
(2) 公共交通での通学者数							
把握する指標	通学定期券年間販売数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	12,230	12,303	12,376	12,449	12,523
実績値(人)	12,158	11,373	10,884	12,407	9,813	-	-
達成率	-	-	89.0%	100.8%	79.3%	-	-

基本方針2 生活と交通の拠点の整備							
(3) デマンド型交通利用者数							
把握する指標	あいのりタクシー及びあいのりバスの年間利用者数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	16,510	16,510	16,510	16,510	16,510
実績値(人)	16,504	16,988	17,136	15,782	14,639	-	-
達成率	-	-	103.8%	95.6%	88.7%	-	-

基本方針3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施							
(4) 路線バスの観光目的利用者数							
把握する指標	バスパック年間利用者数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	5,795	6,095	6,395	6,695	6,995
実績値(人)	5,195	5,414	6,573	6,348	7,093	-	-
達成率	-	-	113.4%	104.2%	110.9%	-	-
(5) 訪日外国人の路線バス利用者数							
把握する指標	バスロケーションシステムの外国語表示閲覧数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(ビュー)	-	-	1,800	3,600	5,400	7,200	9,000
実績値(ビュー)	-	-	1,130	-	-	-	-
達成率	-	-	62.8%	-	-	-	-

※システム開発元において件数集計ができなくなったため、平成30年度以降の件数不明。

《参考数値》 外国人観光客向けVISIT TOKACHI PASS販売件数							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
実績値(件)	-	-	183	713	644	-	-

※平成29年度は平成29年11月以降の数値。

基本方針4 利用促進施策の推進							
(6) 高齢者の路線バス利用者数							
把握する指標	70歳以上の路線バス利用者数(高齢者おでかけサポートバス年間利用者数)						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	964,385	973,841	983,391	993,034	1,002,800
実績値(人)	955,020	921,331	942,181	998,644	978,718	-	-
達成率	-	-	97.7%	102.5%	99.5%	-	-
(7) ノーカーデー参加者数							
把握する指標	ノーカーデー年間参加者数						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標値(人)	-	-	6,210	6,240	6,280	6,320	6,350
実績値(人)	6,169	5,906	6,276	5,647	6,314	-	-
達成率	-	-	101.1%	90.5%	100.5%	-	-

※平成30年度については、北海道胆振東部地震により9月分未実施。

帯広市地域公共交通網形成計画 事業スケジュール・進捗状況一覧表

令和2年7月現在

基本方針	施策項目	施策メニュー	実施主体	事業スケジュール・進捗状況					
				H29	H30	R1	R2	R3	
(1) 公共交通のサービスレベルの向上	利用実態やニーズを踏まえた効率的な路線の再編とダイヤの見直し	バス路線の再編 バスダイヤの見直し	交通事業者	・見直し内容検討 ・一部見直し実施	・路線・ダイヤ見直し実施(帯広厚生病院移転関連等)	・JR・都市間バスとの接続改善等を目的とした路線・ダイヤ見直し実施	・状況に即した路線・ダイヤ見直し検討、随時実施【 継続 】		
	定時性の確保等	定時性の確保等に向けた検討	交通事業者、帯広市	・遅延状況の把握、状況に応じた対応策の検討・実施【 継続 】					
	待合環境の改善	待合環境の改善に向けた検討 帯広駅バスターミナル待合所の老朽化対策	交通事業者、帯広市 帯広市、交通事業者	・イン店舗内待合スペース設置	・郵便局内への待合スペース設置 ・バス停留所・ベンチの設置	・バス待上屋の設置	・イン店舗内へのデジタルサイン設置	・内容拡充の検討・実施【 継続 】	
	新しい運賃制度の検討	ICカードシステム導入の検討	交通事業者	【商業系電子マネー(WAONカード決済)】 ・導入実証実験準備 ・実証実験実施、本格導入検討【 継続 】 【QRコード決済システム】 ・導入検討 ・バスターミナルおびくる窓口でのQRコード決済対応 ・路線バス運賃のQRコード決済対応 ・乗換案内コンテツプロバイダ各社での路線検索対応【 R1完了 】 ・GFTSリアルタイム対応オープンデータ構築					
(2) 生活と交通の拠点の整備	生活交通の確保	乗り継ぎ拠点の設置	交通事業者、帯広市	・拠点候補施設への設置検討(H28~)					
		デマンド型交通の利便性向上	帯広市、交通事業者	【農村部デマンド型交通の利便性向上】 ・あいのりインターネット予約開始 ・既存デマンド型運行の改善【 継続 】 【市街地における新規導入】 ・導入検討 ・実証実験運行					
		多様な移動手段の連携による利便性向上	交通事業者	・観光等でのバス・タクシー連携実施【 継続 】 ・生活交通におけるバスとタクシー・自転車などの連携方法検討					
(3) 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施	交通情報発信の機能充実	バスロケーションシステム等の普及	交通事業者	(H28~バスロケーションシステム「PINA」、乗り換え情報案内システム「もくいく」導入) ・バスロケーションシステム内容改善の検討、実施【 継続 】 ・バスロケーションシステムの普及拡大、利用促進【 継続 】 ・GoogleMap路線検索対応【 H30完了 】 ・事業者HPIにおけるオープンデータ(GTFS)公開【 H30完了 】 ・乗換案内コンテツプロバイダ各社での路線検索対応【 R1完了 】 ・GFTSリアルタイム対応オープンデータ構築					
	バス利用の基本情報の提供	分かりやすいバスマップの作成(継続)	帯広市、交通事業者	・「おびくるバスマップ」更新・配布 ・リニューアル版「おびくるバスマップ」作成・配布【 H30完了 】					
		分かりやすい時刻表の作成	交通事業者	・内容改善⇒作成、配布(随時)【 継続 】					
		施設ごとの情報提供機能の充実	交通事業者	・内容検討	・おびくるデジタルサイン、AI窓口設置 ・タミル案内看板改善	・AI窓口の機能強化【 継続 】 ・情報提供手段、内容の拡充(随時)【 継続 】			
	インバウンド観光への対応	外国人観光客に分かりやすい案内表示の整備	交通事業者	・一部バス停留所の多言語化対応 ・一部バス停留所、案内放送の多言語化対応【 継続 】 ・インバウンド観光対応の検討、随時実施【 継続 】					
企画乗車券(バスパック等)の利用促進(継続)		交通事業者	・事業者HP、バス待合所等でのPR・利用促進【 継続 】 ・SNSによるPR・利用促進【 継続 】						
(4) 利用促進施策の推進	モビリティ・マネジメント(MM)施策の展開	小学生向けMMの実施(継続)	帯広市、交通事業者	・出前講座「交通環境学習」の実施【 継続 】					
		中学生向けMMの実施	帯広市、交通事業者	・バス利用動機付けツール(小冊子)作成・配布	・ツール内容改善、配布【 継続 】				
		高校生向けMMの実施	帯広市、交通事業者	・バス利用動機付けツール(小冊子)作成・配布	・ツール内容改善、配布【 継続 】				
		住民向けMMの実施	帯広市、交通事業者	・バス利用動機付けツール(小冊子)作成・配布	・ツール内容改善、配布【 継続 】				
		高齢者向けMMの実施(継続)	帯広市、交通事業者	・高齢者学級出前講座の実施【 継続 】		・バス利用動機付けツール(小冊子)作成・配布			・ツール内容改善・配布【 継続 】
		ノーカーデーの取組(継続)	帯広市、交通事業者	・取組の継続実施、普及啓発【 継続 】					

令和2年度 事業計画（案）

1 モビリティ・マネジメント施策の展開

【中学生向け】

- ・高校、専門学校等に進学予定市内の中学3年生を対象に、路線バスの利用方法や通学方法、環境問題、安全性などの動機付け情報を掲載した小冊子について、内容改善を図りながら継続して作成・提供し、通学におけるバス利用の促進を図る。

【高校生向け】

- ・市内の高校に通う高校生を対象に、路線バスの利用方法や環境問題、安全性などの動機付け情報を掲載した小冊子について、内容改善を図りながら継続して作成・提供し、通学におけるバス利用の促進を図る。

【転入者向け】

- ・市内転入者へ向けて、路線バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報を掲載した小冊子について、内容改善を図りながら継続して作成、配布し、通勤や日常生活におけるバス利用の促進を図る。

【高齢者向け】

- ・市内高齢者へ向けて、路線バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報を掲載した小冊子について、内容改善を図りながら継続して作成、配布し、日常生活におけるバス利用の促進を図る。

2 「地域公共交通計画」策定に向けた検討

- ・令和2年6月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が公布され、地方公共団体による「地域公共交通計画」（マスタープラン）の作成が可能となった。このため、令和3年度で計画期間満了となる「帯広市地域公共交通網形成計画」の次期計画として、「帯広市地域公共交通計画（仮称）」の策定に向けた検討を進める。

令和2年度 収支予算書(案)

収入の部

(単位:円)

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増 △ 減	備 考
補助金	0	0	0	
負担金	66,000	70,000	4,000	バス事業者負担金 33,000円 帯広市負担金 37,000円
雑入	28,775	17,910	△ 10,865	前年度繰越金 17,910円
計	94,775	87,910	△ 6,865	

支出の部

(単位:円)

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増 △ 減	備 考
事業費	80,000	80,000	0	公共交通利用促進 小冊子作成・配布経費
事務費	14,775	7,910	△ 6,865	消耗品費 振込手数料等
計	94,775	87,910	△ 6,865	

令和2年度 帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施内容（案）

※資料中、「(継続)」は過年度から継続実施している取組を表す。

基本方針1 公共交通のサービスレベルの向上

1 市内バス路線及びダイヤの見直し

■実施済路線

路線名	運行事業者	実施内容
南商業高校線、帯広の森線	拓殖バス	より道路状況に即したスムーズな運行を行えるよう、市内の一部停留所間の運行区間時分の見直し。 (R2.5.21 実施)

■実施予定・検討路線

路線名	運行事業者	実施内容
大空団地線	十勝バス	運行ルート及びダイヤの見直しを検討中。
循環線、循環線（記念病院）、音更線	十勝バス	運行ルート及びダイヤの見直しを検討中。
（帯広厚生病院経由便）	拓殖バス	帯広厚生病院運行便及び病院内への乗り入れの可能性について、引き続き検討及び調整を実施。

※路線の一部が市内を運行するが、主に市外運行部分に関わる路線・ダイヤの変更については記載省略。

2 定時性の確保等に向けた取り組み

- ・冬期間の道路管理者への除雪等対策の要望や、遅延発生路線への代替便による対応を実施。(継続)【十勝バス・拓殖バス】
- ・冬期間の通勤時間帯における渋滞緩和に向けた、エコ通勤やノーカーデーの取組を実施。(継続)【十勝バス】
- ・実際の道路状況等にそぐわない運行時分となっている区間のダイヤ見直し。(継続)【拓殖バス】
- ・十勝大橋などの交通ボトルネック地点について、信号現示改良などの要望活動を検討。(継続)【拓殖バス】

3 バス待合環境の改善に向けた取り組み

- ・イオン帯広店内にデジタルサイネージを設置。(R2.6 実施済)【十勝バス】
- ・「バスターミナルおびくる」デジタルサイネージのリニューアル。【十勝バス】
- ・「バスターミナルおびくる」乗り場の分かりやすさ向上を目的とした乗り場再編の検討。【十勝バス・拓殖バス】
- ・帯広郵便局以外の郵便局や商業施設等におけるバス待合スペースの設置や時刻表・案内表示の充実に向けた検討。(継続)【十勝バス・拓殖バス】
- ・経年劣化しているバス停ポールの更新。(継続)【拓殖バス】

- ・バスロケーションシステムの更新に伴う、バス発車案内デジタルサイネージの設置箇所の検討。【拓殖バス】

4 ICカードシステム導入に向けた実証試験の実施

- ・路線バス全車両によるQRコード決済（PayPay）導入（R2.4実施済）。【十勝バス】
- ・大空団地線におけるWAONカード決済の実証実験の実施。【十勝バス】
- ・「バスターミナルおびくる」等の窓口でのQRコード決済（PayPay）導入。（R2.4実施済）【拓殖バス】
- ・路線バス全車両における各種決済サービスに対応したQRコード決済導入。【拓殖バス】

基本方針2 生活と交通の拠点の整備

1 乗り継ぎ拠点の設置検討

- ・MEGAドン・キホーテ西帯広店におけるバス待合環境整備や乗り継ぎ拠点化について協議・調整を実施。（継続）【十勝バス】
- ・商業施設や学校が集積している地区等における円滑な乗り継ぎを目指して、路線・ダイヤの見直しや待合環境の整備について検討。（継続）【拓殖バス】

2 デマンド型交通の利便性向上及び市街地における導入検討

- ・大空団地エリアにおいて、乗合タクシーの試験運行を実施予定。【十勝バス】
- ・市街地における路線運行が非効率と考えられる地区におけるデマンド型交通の導入に向けた、地域のニーズの把握や、実施可能性の調査について検討する。（継続）【拓殖バス】

3 多様な移動手段との連携の検討

- ・年末深夜バスにおけるタクシーとの連携を実施。（継続）【十勝バス】
- ・大空団地における、バスとタクシーが連携した新たな取組の検討。【十勝バス】
- ・生活交通の利便性向上に向けた、タクシーや自転車との連携方法について、他都市の事例等の情報収集及び検討。【拓殖バス】

基本方針3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施

1 バスロケーションシステム等の普及

- ・アラート機能の活用による運休や遅延情報の発信など、オープンデータにおける情報提供の強化。【十勝バス】
- ・新しいバスロケーションシステムを導入し、より検索しやすく、Googleマップ上でも検索可能なGTFSリアルタイム対応オープンデータの構築。【拓殖バス】
- ・バスロケーションシステムの更新に伴う、バス発車案内デジタルサイネージの設置箇所の検討。【拓殖バス】

2 分かりやすい時刻表の作成

- ・バス停の時刻情報をQRコードで読み取れるよう検討。【十勝バス】
- ・路線やバス停留所によって形式が統一されていないバス停標柱の時刻表について、形式の統一に向けて検討。【拓殖バス】
- ・病院利用客の利便性向上のため、路線別の乗継時刻表の作成を検討。(継続)【拓殖バス】

3 情報提供機能の充実

- ・「バスターミナルおびくる」に設置しているデジタルサイネージによる情報提供内容の充実。(継続)【十勝バス・拓殖バス】
- ・AI 窓口の機能改善。【十勝バス】

4 外国人観光客向けの案内表示の整備【十勝バス・拓殖バス】

- ・市内線バス停留所の改修に合わせたバス停留所の外国語対応や、外国人利用客の多い路線や停留所への外国語案内放送を随時実施。(継続)
- ・「バスターミナルおびくる」乗り場において、観光客をターゲットとした目的地別案内図の看板設置や、紙媒体での配布、ホームページ上での公開を検討。
- ・十勝圏二次交通活性化推進協議会において協議したインバウンド観光対応の問題点や課題について、随時対応予定(時刻表の多言語化、乗務員向け外国人コミュニケーションツールの作成等)。(継続)

5 企画乗車券(バスパック等)の利用促進

- ・バス事業者ホームページやSNS、「バスターミナルおびくる」等におけるバスパックや「VISIT TOKACHI PASS」、「Hokkaido Budget Bus Pass」等のPRを実施。(継続)【十勝バス・拓殖バス】
- ・地元向けサブスク型バスパックの実施。【十勝バス】
- ・観光客の誘引や地元住民の活用に対応した新たな乗車券の検討。【拓殖バス】

基本方針4 利用促進施策の推進

1 モビリティ・マネジメント施策の展開

【小学生向け】

- ・市内の小学校に通う小学生を対象とした、行政、バス事業者等による出前講座「交通環境学習」について、今年度も継続して実施する。(継続)

【中学生向け】

- ・高校、専門学校等に進学予定の市内の中学3年生を対象に、路線バスの利用方法や通学方法、環境問題などの動機付け情報を掲載した小冊子について、内容を改善しながら継続して作成・提供し、通学におけるバス利用の促進を図る。(継続)《協議会事業》

【高校生向け】

- ・市内の高校に通学する高校生を対象に、路線バスの利用方法や環境問題などの動機付け情報を掲載した小冊子について、内容を改善しながら継続して作成・提供し、通学におけるバス利用の促進を図る。(継続)《協議会事業》

【転入者向け】

- ・市内転入者へ向けて、バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報を掲載した小冊子について、内容を改善しながら継続して作成、配布し、通勤や日常生活におけるバス利用の促進を図る。(継続)《協議会事業》

【高齢者向け】

- ・市内高齢者へ向けて、バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報を掲載した小冊子について、内容を改善しながら作成、配布し、日常生活におけるバス利用の促進を図る。《協議会事業》

※例年実施していた帯広市高齢者学級を対象とした出前講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の実施は未定。

◆新型コロナウイルスに係る取組など

【現在実施している取組】

- ・全従業員のマスク着用の徹底。運転手の出勤時の検温実施。発熱がある際の出勤停止。
- ・バス乗車口、降車口へのアルコール消毒液の設置。
- ・車内運転席及び各営業所・ターミナル窓口への感染防止カーテンの設置。
- ・車内最前列（運転手後方）座席使用停止。
- ・バス車内における換気、消毒の徹底。
- ・感染防止の取組みや車内での感染リスクが小さいことなどについて、ホームページ上でPR。
- ・一部系統にて、利用の需要減少に応じた減便（運行経費節減）実施。

【今後実施予定の取組】

- ・車内における換気・消毒・マスク着用の徹底など、感染防止対策を継続。
- ・上記取組や感染リスクについて、ホームページやSNSなどによるPRを継続。
- ・行政や関係機関と連携しSNSやホームページ上でのさらなる利用促進や、新たな利用促進施策の検討・実施。